「神に祝福される教会」ヨハネ１３：３４，３５　　１８・１１・１８

１．高ぶりが砕かれ謙遜な人（聞く耳のある人）の集まりである教会を神は祝福される。
「神は高ぶる者（神に頼らない）には敵対し、へりくだった者には恵みを与える」ヤコブ４：６

２．人数を集める事ではなく、一人一人が御言葉で育てられる教会。結果として神が、人を加えて下さる。
「みことばは、あなたがたを成長させ」使徒２０：３２

３．牧会者夫婦が主の愛で互いに赦し合い、愛し合う。Ｉテモテ３：５。
主が与えて下さる夫婦愛（主が与えられた妻に感謝。５０％？８０％？妻の支え)、互いに祈り合い支え合う教会。
「互いのために祈りなさい」ヤコブ５：１６。
牧師夫婦は信徒の為に、信徒は牧師夫婦の為に祈る。麗しい教会、神が祝される教会。

４．神に必要を祈り求める教会。
心から祈る時、主の恵みに感謝して、奉げる心も与えられる。１８年間の主が与えて下さる奇蹟的恵みの体験。
「私の神は、キリスト・イエスの栄光のうちにあるご自分の豊かさにしたがって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます」ピリ４：１９。
教会にも、各家族にも、今日まで必要を満たして下さった。

５．完璧主義で自分や他の人を責めるのではなく、できなかった事の前に、できた事を数え、感謝する教会。
「感謝の心を持つ人になりなさい」コロサイ３：１５

６．支配しない、支配されない関係作り。
「私たちは、あなたがたの信仰を支配しようとする者ではなく、あなたがたの喜びのために協力して働く者です」Ⅱコリント１：２４。
この御言葉は、すべての人間関係に適用できる。支配者は、頭である主のみ。
強い人の意見ですべて決まる教会でないように！
自分が、頭である主を押しのけて、教会の支配者になっていないか、主の前に自己吟味をする。
互いに聞く謙遜、互いに愛を持って真実を語る事のバランス。
主を間に置く関係の恵み。互いに成長する関係。
人を自分につけず、お互いに主につき、共に主に近づく主にある交わり。ガラテヤ３：７。

７．神の分、自分の分、人の分、助け合う分の識別。ガラテヤ６：１－５。
「あなたがたの愛が、知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、あなたがたが、大切なことを見分けることができますように」ピリピ１：９，１０

８．前の働き人を尊敬する時、信徒も一致する。ローマ１２：１０。
宣教師に導かれた人も、引き継いだ人に導かれた人も、主を中心に一致する教会。

９．互いに愛し合う真の一致とは、一人一人が主に近づく時、生まれる。一人一人の距離が近づく。主を中心とした一致。これこそ世への証し！
「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります」
ヨハネ１３：３４，３５
「父よ。あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちのうちにいるようにしてください。あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるようになるためです」ヨハネ１７：２１

１０．先行する主の恵みへの感謝、喜びから証し、伝道、奉仕、奉げ物が生まれる教会。
罪の自覚から、主の十字架の恵みが増し加わる。Ⅱペテロ３：１８

１１．過度の奉仕で疲れている時、休みをいただき、恵みに憩う。
時満ちて、霊的に回復したら、再び、恵みに生きる奉仕へ。
奉仕をして「やってやる」という高慢から、奉仕を「させていただく」という謙遜な恵みへ！
「キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい」Ⅱテモテ２：１
１２．礼拝につながる人々は、救われ洗礼に導かれ成長する。礼拝には特別な恵みがある。
１３．祈られての説教の準備の労苦と恵み。
準備中、自分自身が教えられる恵み。金曜日に完成。完全原稿。土曜日は、味わう。
※初めの頃：礼拝前まで、寝ながらも、健康診断中も？
１４．思いがけない事が起こる事も！油断せず、常に目を覚まして祈る教会。
１５．健全なリーダーシップ：神との深い交わりから生まれる霊性。
御言葉と御聖霊に満たされた説教、主の臨在。
神と人への誠実さ、聖さ、愛から信頼を得る。
神に仕え人にも仕えるこの器の為に祈り、支えたいと信徒の方が思う。
祈りつつ決断をし、結果の責任を取る。
パウロの様に、愛する信徒の為に日々祈ると共に、「私の為にも祈って下さい」と真剣にお願いする謙遜。
神はこのような仕える器に識別力のあるリーダーシップを与えられる。支配ではないリーダーシップ。
マタイ２０：２６。
１６．多くの試練の中で失望する時：試練と共に今ある主の恵みを一つ一つ数え神と人に感謝する。
詩篇１０３：２、哀歌３：２２、コロサイ３：１５、Ⅰテサ５：１８
１７．教会にないものではなく、今、与えられているものを心から感謝する。
今、教会にいる人々の賜物が用いられる教会、愛して下さる主の為に出番のある教会形成。
「これしかない」ではなく、「これも、あれも与えられているではないか！」それらを主の所に持って行く。
自分自身、自分が与えられているものをささげる。
「『ここには五つのパンと二匹の魚しかありません。』するとイエスは『それを、ここに持って来なさい』と言われた」マタイ１４：１７，１８。
※昨年９月から始まった子供賛美チームの恵み。クリスマスの祝会の出し物の恵み、他。賜物に応じた奉仕が組み合わされている教会。
１８．「Ｄｏｉｎｇ」（行い）の前に「Ｂｅｉｎｇ」（存在）。「ｈｕｍａｎｂｅｉｎｇ」。
神との交わり、霊性から生まれる、主の為の、恵みに感謝しての行いはかぐわしい香り。
１９．失敗を反省し、そこから学んだ事を今後に生かす教会。
主は、失敗の多い私達を見捨てられない。私達の主から与えられた人生、教会形成には、悩み、苦しみも多いです。
しかし、そこに、主の恵み、力も十分である事を忘れず、互いに重荷を降ろし、祈り合い励まし合い歩みましょう！
「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである」
Ⅱコリント１２：９。
「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益（試練を通しての主の御姿への成長。神のご計画がなされる）となることを、私たちは知っています」ローマ８：２８